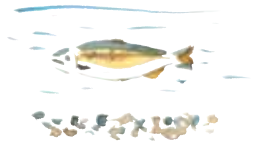


二ヶ村緑道とかぜのみち

遠く富士山も望める多摩川の堤と、せせらぎのある二ヶ村緑道を通るコースは、四季折々の自然とのふれあいが楽しめます。

多摩川ストーリー
鮎と砂利は多摩川の特産品
 かつて多摩川は、鮎がたくさん棲む清流として名高く、平安時代は歌人にも詠まれ、江戸時代には「上げ鮎」として将軍家に献上されていました。明治には河畔に鮎料理を出す店もでき、屋形船に乗って鵜飼を楽しむこともあったようです。砂利は江戸時代から建築資材用として採取され、明治以降需要が増えて船での運搬が鉄道にとってかわられました。京王線、西武多摩川線、JR南武線などは砂利運搬鉄道として発達したものです。河川の砂利採取が禁止になると、近くの田畑の下に埋まった砂利を採掘しました。その「砂利穴(じりあな)」の一つが多摩川競艇場です。



二ヶ村緑道のせせらぎ

二ヶ村緑道は、用水路を二つの村(常久村と押立村)が使っていたのが名前の由来です。木々に囲まれた歩道とせせらぎが、実に心地よい空間をつくっています。サントリーラグビー部のグラウンドを越え、JR南武線をくぐると極楽橋の跡。府中街道と接するところには亀里橋がありました。

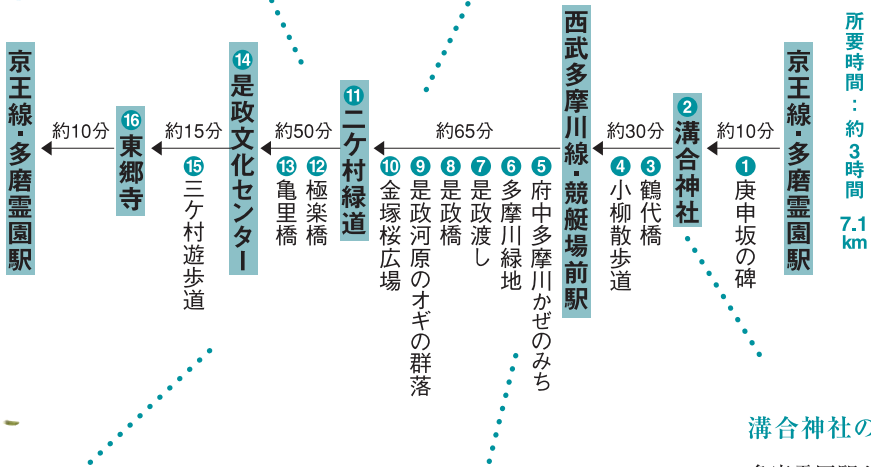


オギの群落は府中30景

是政橋と南武線の間で府中30景の一つ、オギの群落が見られます。ススキに似ていますが、河原に生えるのがオギ、草原に生えるのがススキです。奥多摩の絶景や、天候に恵まれれば遠く富士山を眺めつつ、サッカー場のところで右折。金塚桜広場を通って二ヶ村緑道へ。



是政河原のオギの群落



三ヶ村遊歩道とサクラの東郷寺

是政文化センターから三ヶ村遊歩道に入ります。三ヶ村用水の後につくられた遊歩道で、三ヶ村とは上染屋、下染屋、小田分のことです。東郷寺下の交差点を渡って東郷寺へ。山門へ向かう参道右側のシダレザクラは名木百選に指定され、大きく広げた枝ぶりが大変見事です。東郷寺通りを上れば、多磨霊園駅です。



東郷寺のシダレザクラ

府中多摩川かぜのみちを散策

府中多摩川かぜのみちは対岸の景色もすばらしく、広々とした河川敷で開放感に浸ることができます。やがて稲城市と結ぶ斜張橋(塔から斜めに張り渡したケーブルで桁を吊る橋)、是政橋の下をくぐります。是政渡しは対岸の大丸とを結んでいましたが、昭和16年に姿を消しました。



三ヶ村遊歩道

溝合神社の庚申塔

多磨霊園駅から庚申坂、溝合神社へ。庚申信仰は江戸時代に広まった民間信仰で、溝合神社には庚申塔と青面金剛像がまつられています。溝合公園から西武多摩川線、中央道を越えて小柳散歩道へ。競艇場前駅の構内を抜け、小柳町西公園から府中多摩川かぜのみちに出ます。

